

## 平成30年度卓越大学院プログラム審査結果

機関名	名古屋大学		
プログラム名称	未来エレクトロニクス創成加速 DII 協働大学院プログラム		
プログラム責任者	藤巻 朗	プログラムコーディネーター	天野 浩

### 【採択理由】

本プログラムは、未来エレクトロニクス分野におけるプロダクトイノベーションの継続的創出を担い、同じ目標に向かって協力・協働しイノベーション創出を加速する、役割が異なる3タイプ（Deployer、Innovator、Investigator）の人材を育成するものである。

名古屋大学における窒化ガリウム（GaN）半導体を中核としたエレクトロニクス分野の研究は国際的に高く評価されており、本プログラムにおいても国際的に卓越した教員によるリーダーシップが機能的に作用している。プログラムコーディネーターの経験から生まれた本構想は、人材育成上の課題が明確に示されている。Deployer、Innovator、Investigator という三つの人材像を示し、未来エレクトロニクスデバイスの研究開発、さらには事業化を支え、先導・主導する卓越した人材を育成する教育プログラムは、博士人材育成の方法として新しく、卓越性が認められる。また、エレクトロニクスデバイスのみならず他分野にも展開できる可能性を感じる。さらに、プログラム遂行に当たり国内外企業、組織との連携や世界第一線で活躍する教員からの支援が図られており継続性・実効性も高く評価できる。

既に稼働している GaN 研究コンソーシアムにより教育プログラムに対するヒト・モノ・カネといった資源提供など企業との協働体制が確立していること、世界第一線で活躍する教員が Qualifying Examination（QE）、産学連携、国内外短期・長期インターンシップをサポートする体制が具体的に計画されていることから実現可能性も高い。

本プログラムには、他分野・他領域にも適用できる要素があり、博士人材育成のモデルとなり得る。本プログラムの固有性、ユニバーサル性を分析し切り分けていくことで、特定の分野・領域に閉じることなく、他分野への展開についても期待できる。